

令和4年度地域運動部活動推進事業

Ⅱ 合理的で効率的な部活動の推進に関する実践研究

南砺市教育委員会

●現状・課題

- ・顧問を担う種目を経験したことのある教員が、市立中・義務教育学校全体の30%程度にとどまっており、質の高い専門的な指導が行いにくい状況となっている。
- ・指導者の高齢化により、近い将来、持続可能な指導体制を維持することが困難になることが危惧される。
- ・少子化の影響により、学校規模の縮小化が進んでおり、異年齢との交流の中で、人間関係の構築、生徒自身の自己肯定感を高めるなどの学習指導要領に謳うような充実した活動が成り立ちにくくなってきている。

●実践研究校・競技

10種目対象とし、7種目で実施。南砺市全中・義務教育学校で実施。

- ・軟式野球：城端中学校、福野中学校、井波中学校
- ・ソフトテニス：城端中学校、福野中学校、福光中学校、吉江中学校
- ・バスケットボール：井波中学校、城端中学校、福野中学校、福光中学校、吉江中学校
- ・卓球：福野中学校、福光中学校、吉江中学校
- ・柔道：城端中学校、福野中学校、吉江中学校
- ・剣道：井波中学校、福野中学校
- ・バドミントン：利賀中学校、平中学校、福野中学校、南砺つばき学舎

●実践内容

- ・合同練習の機会を設け、活動の拠点となる中学校または施設に市内の生徒が集合して、休日の部活動を実施する。
- ・休日の合同部活動であるが、夏季・冬季休業や振替休業日は平日でも実施可能とする。
- ・より質の高い指導が提供できるよう、講習会等を実施する。
- ・特別指導者謝金・会場使用料・送迎バス(スクールバス)・特別指導者保険料を助成する。中学校体育連盟の市の競技主任が中心となって運営する。
- ・10・2月に教員、生徒、保護者を対象にアンケート調査を実施し、市の競技主任と問題点や今後の取組について協議した。

●参加者の声

- ・他校と合同で部活動を実施する取組はいいか：生徒79.9%、保護者88%、教師75%
- ・他校の先生や他の指導者から指導を受けることができ、技術の向上につながったか
：生徒85.1%、保護者88.8%、教師79.2%
- ・いつもと違う練習ができ、充実した練習になったか：生徒82.8%、保護者88%、教師75%
- ・上手な選手や同じぐらいのレベルの選手と練習ができ、充実した練習になったか
：生徒79.9%、82.4%、教師87.5%
- ・競技に対する興味や意欲は増したか：生徒75.4%、保護者70.4%、教師66.7%
- ・今後、月1～2回の合同部活動の機会を設ければ、今より充実した活動になるか
：生徒64.9%、保護者82.4%、教師70.8%
- ・スクールバスで移動することは、保護者の負担がかからなくていい
：生徒93.3%、保護者95.2%、教師91.6%

●成果

- ・少人数の学校同士が合同練習を行うことで、いつもと違う練習ができ、生徒にとって充実した練習ができた。
- ・他校の先生や指導者から指導を受けることができ、生徒にとって充実した練習につながった。
- ・他校の上手な選手や同じぐらいのレベルの選手と練習ができ、生徒にとって刺激になった。
- ・トレーナーや実績のある指導者の指導を受けることで、技術の向上につながった。
- ・合同練習を通して、他校の生徒とも交流ができ、今後拠点校化・地域移行に向けて仲間意識が育まれた。
- ・スクールバスの予約方法等を変更したため、合同練習にスクールバスが使用される回数が増えた。
- ・スクールバスで移動するため、保護者の負担軽減につながった。

●課題

- ・コロナ禍ということもあり、実施できない時期が続いた。
- ・合同部活動を休日に行う場合、大会や練習試合等があり、実施可能日が限られるため、日程調整が難しい。
- ・日程調整をするために、市の競技主任の負担が大きい。
- ・今後の拠点校化・地域移行に向けて、競技協会を巻き込んで講習会を開催するように市の競技主任に提案しているが、ほとんど実施することができなかった。
- ・少人数で移動する場合、スクールバスだと市の経費が大きい。

●課題解決に向けて

- ・年度当初、合同部活動の計画的運用をするために、市の競技主任に各校の部活動顧問と調整するよう依頼し、市の競技主任の負担軽減を図る。
- ・各校の部活動顧問が企画・運用できる体制を整える。
- ・地域移行に向けて、質の高い指導を受けるための指導体制を整備できるよう競技団体と連携を図る。
- ・移動方法をスクールバスだけでなく、人数によってはジャンボタクシーを活用できるよう検討する。

●今後の対応

- ・教員、生徒、保護者にアンケート調査の結果から、事業の成果と課題を洗い出す。
- ・拠点校化・地域移行を推進するために、各地域の指導者の垣根をなくし、合同部活動に積極的に関与する体制を整える。